

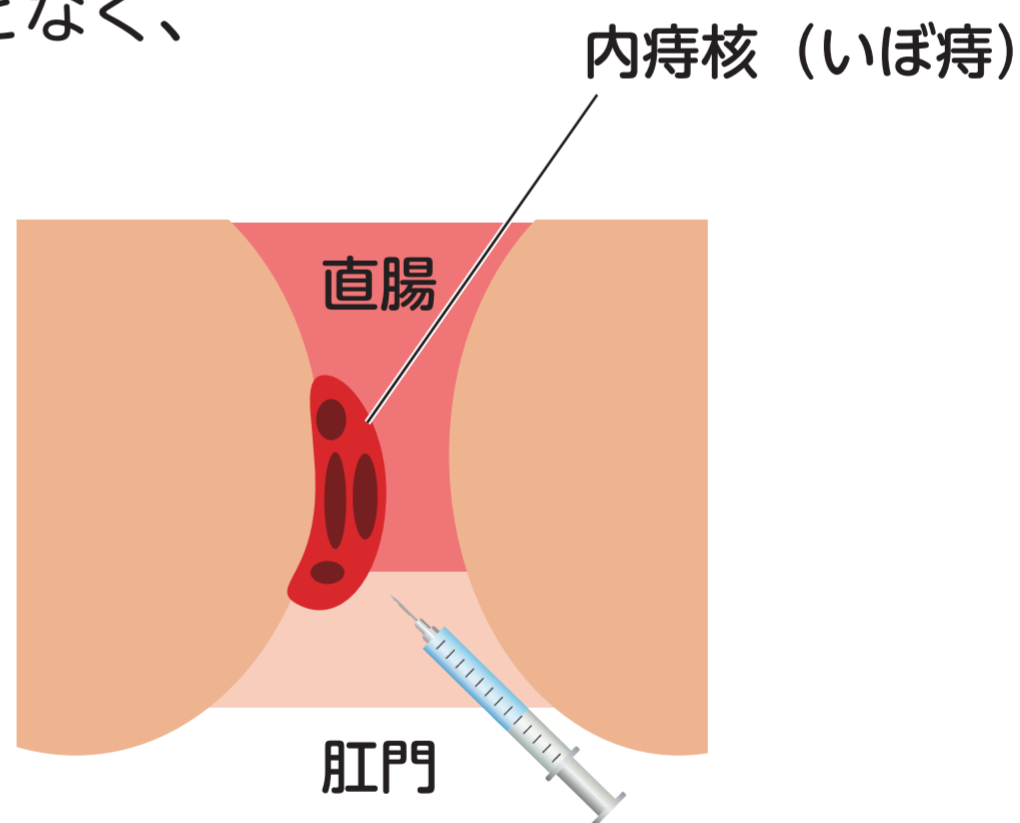
いぼ痔（内痔核）でお悩みの方へ

当院では 内痔核（いぼ痔） に対して、
注射療法を行っています。

いぼ痔（内痔核）があり、座薬や軟膏ではよくなる、排便時に出血がある、排便時に肛門から出る、あるいは常に肛門から出たままになっている、といったお悩みの方に、内痔核硬化療法（ALTA療法）という治療法があります。ALTA療法は、近年注目されている、内痔核（いぼ痔、脱肛）の治療法のひとつで、**メスを使わない、切らずに治す痔の治療法**です。

ジオンという、硫酸アルミニウムカリウムとタンニン酸を有効成分とする強力な治療薬（硬化剤）を使用します。これらの成分を患部に直接注射することで、痔核の脱出・出血症状を改善する方法です。複数の痔核がある場合には、それぞれに注射します。

所要時間は10～30分程度で痛みはほとんどなく、
当院では日帰り手術として行っています。



ALTA療法の施術には専門の資格が必要とされていますが、当院はこの認定施設となっています。現在、調布市には痔核硬化療法のできる認定施設は、当院を含め2か所のみです（2021年4月時点）。

※ALTA療法ができるのは肛門の内側の内痔核のみです。肛門の外側にできた外痔核や皮垂には軟膏による治療や切除が必要な場合があります。治療法については診察をした上で判断させていただきます。